



区長コラム ずっと もっと めぐろ

目黒区長 青木英二

こんにちは。区長の青木英二です。

本稿を書いているのは9月下旬となりますが、報道によりますと、19都道府県に発令されている新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言について、政府が9月末日をもって解除する見通しとなっています。一部地域はまん延防止等重点措置に移行することですが、全国的にも目黒区におきましても、新型コロナウイルスの新規陽性者数は減少を続けています。これまでの、区民の皆さまの感染防止対策への取り組み、そしてご協力に深く感謝申し上げます。また、65歳以上のかたの9割以上が既に2回目のワクチン接種を終え、23区でもトップレベルの接種状況を実現できているほか、12歳以上のかたの接種も着実に進んでいることも、新規陽性者が減っている大きな要因の一つであると考えています。

新型コロナウイルスとの戦いは、残念ながらまだまだ終わりではありません。緊急事態宣言が解除されたとしても、気を緩めることなく、引き続き必要な対策の徹底をお願いいたします。

区報の本号の特集は、区の友好都市である宮城県角田市についてです。角田市との交流は、災害時の職員派遣や有志職員による

交流野球、さらに子ども農村体験やホームステイなど多岐にわたっており、互いの絆は区にとっても大切な財産になっています。私も何度も角田市を訪れており、トマトやキュウリなど、とにかく野菜がおいしいことから、現地での食事毎回楽しみにしています。積極的な交流が少しでも早く再開されることを心から待ち望んでいます。

また、12面では、「第3回！めぐろとくとく商品券」の販売についてご案内しています。プレミアム率は30%、4セットまでお申し込み可能ですので、第1回、第2回でご購入をされていない16歳以上の区内在住のかたは、ぜひご検討ください。10月1日から15日までお申し込みを受け付けています。

最後となりますが、先月7日から開催されていた令和3年第3回区議会定例会が30日に閉会しました。この定例会では、補正予算や令和2年度決算についてなど、さまざまな審査や議論が行われました。本会議や委員会の会議録や映像は、区議会のホームページでも公開されていますので、在宅時間などをご利用いただき、ぜひご覧いただければと思っています。

10月は食品ロス削減月間

食べきり協力店で おいしく楽しく 食べきろう！



日本では年間 600 万トン※
の食品ロスが発生しています

※平成30年度推計

食べきり協力店は、食品ロス削減のための取り組みを推進するお店で、ゴミラスのステッカー（上画像）が目印です。詳細は区HP（右コード）をご覧ください。今回は、食べきり協力店2店をご紹介します。



問清掃リサイクル課計画普及係（☎5722-9883、FAX5722-9573）

楽園菜館（らくえんさいかん） （鷹番1-2-6地下1階）



▲量は少なめで品数が多いレディースランチセット

▶ランチメニューは全てテイクアウトできます



量が少なめで桃の杏仁豆腐が付くレディースランチセットは、どなたでもご注文いただけます。アレルギーへの対応はもちろん、量や辛さなどの好みのご要望にも、可能な限り対応いたします。料理のお持ち帰りなども気軽にご相談ください。



楽園菜館オーナーシェフ 祭晶雄さん

楽屋（らくや） （上目黒2-15-6）



▲人気のイエローカレー。ご飯の量を少なめに調整することもできます



▲香味野菜のパクチーが苦手な方は抜くこともできます



楽屋オーナー 増茂光夫さん（左）、増茂しのぶさん（右）

アレルギーや苦手なものなどに対応しています。量の目安もご案内できますので、小盛りをご希望の場合など、気軽にお声掛けください。お一人でも頼みやすい盛り合わせメニューもあります。食材調達は、フードマイレージ※を意識して、なるべく国産の食材を使用しています。

※食料が消費者に届くまでの距離を表す数値。小さいほど、環境への負荷が少ない